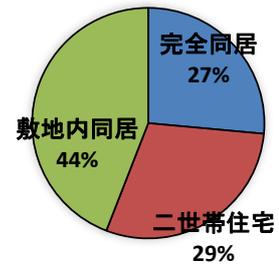


ゆったり子育て三世代同居応援事業アンケート(令和元年度集計)

問1 現在の家族形態はどれですか

1. 三世代完全同居
2. 二世帯住宅での同居
3. 敷地内での同居

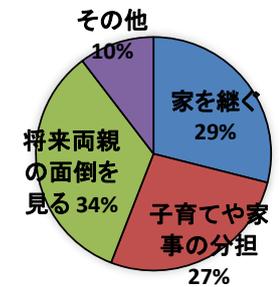
%
100%
27%
29%
44%



問2 三世代同居をしようと思った理由は何ですか(複数回答可)

1. 子世代が家を継ぐため 29%
2. 子育てや家事を分担するため 27%
3. 将来両親の面倒を見るため 34%
4. その他 10%
 - ・孫が幼稚園入園のときに子育てや家事を分担するため。
 - ・子世代から提案(孫を環境の良い場所で育てたいため)。
 - ・建築費の分担。
 - ・他の場所に土地を買って家を建てるのは、資金的に厳しいため。
 - ・実家の土地が広く地盤も良かったため。土地を提供してもらえたから。
 - ・将来的に実家をどうするか考えたときに、実家の土地に建てた方がいいと思ったため。
 - ・親世代が介護を要する状態となり、そうなったら同居しようと思っていたため。

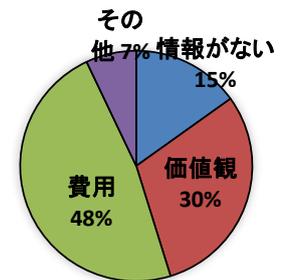
100%
29%
27%
34%
10%



問3 三世代同居をするにあたり、課題となったことは何ですか(複数回答可)

1. 三世代同居をしている人の情報がなく不安であった 15%
2. 親世代と子世代の価値観の相違があった 30%
3. 同居のための住宅の改築(新築)費用が多くかかった 48%
4. その他 7%
 - ・保育園に入りづらくなる気がする。
 - ・配偶者の同意。
 - ・義父母と適度な距離を保ちたい。
 - ・特になし。

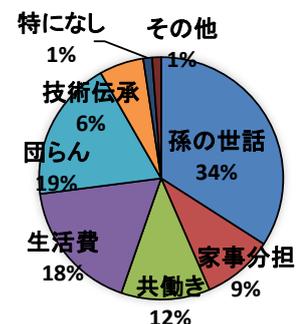
100%
15%
30%
48%
7%



問4 三世代同居をして良かったと思うところはどこですか(複数回答可)

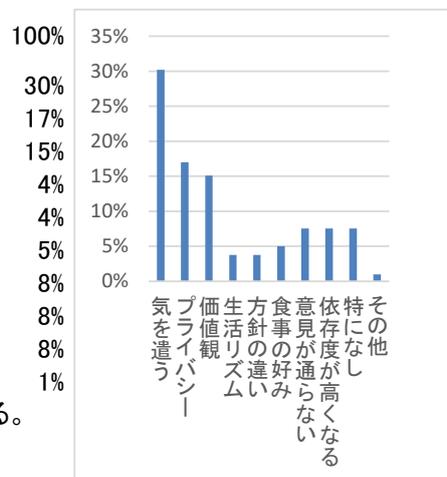
1. 忙しいときに親世代が孫世代の世話をしてくれる 34%
2. 家事が分担できる 9%
3. 子世代が共働きを続けられた 12%
4. 分かれて住むより生活費が削減できる 18%
5. 異世代交流ができ、家族団らんの機会が増える 19%
6. 親世代の子育て技術や昔話などを伝承できる 6%
7. 特になし 1%
8. その他 1%
 - ・近所付き合いが一からではない。

100%
34%
9%
12%
18%
19%
6%
1%
1%



問5 三世代同居をして苦労した、難しかったと思うところはどこですか(複数回答可)

1. 近くで家族が生活しているため気を遣う
2. プライバシーが保てない・保ちにくい
3. 世代によって価値観が一致しない
4. 生活のリズムが合わない
5. 教育・子育て方針の違いがある
6. 食事の好み合わない
7. 家族が多いため、自分の意見が通らないことがある
8. 家族への依存度が高くなり、自立心が薄まる
9. 特になし
10. その他
 - ・近すぎると祖父母が、嫁に対して、わがままな要求をすることがある。
 - ・嫁だからやってくれるだろうという甘えがでてくる。



問6 これから三世代同居をする人へのアドバイスをお願いします

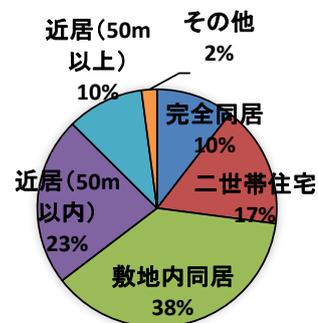
- ・お互いの生活スタイルを尊重しあう。
- ・共に助け合ったり、楽しみ合ったりしながらも、干渉すぎないように生活することが大切。
- ・プライバシーを保てるようにすること。
- ・意見が対立する場面は必ずあると思いますが、その時こそ関係者全員で話し合って共通認識を得なければいけないと思う。
- ・経済面、子育て面で不安がある人には折り合いをつける必要が十分あるが、それ以上に助かることが多い。
- ・食事は一緒に食べるか等や生活費について、事前に確認できることはしておいた方がいいと思います。
- ・住む前にしっかりと生活について話し合うことが重要です。住み始めるとなかなか言いたいことが言えないので、最初にしっかりと話した方がいいと思います。
- ・生活リズムの違う世代が敷地内に存在する為、難しい点多々あるが、お互いに配慮し合うことで上手に生活することができていると感じる。
- ・お互いに言いたいことを我慢しない、遠慮しない、細かい事にこだわらないこと。でも、「親しき仲にも礼儀あり」で暮らすこと。
- ・住み始める前に義母から、お互い気をつかすぎないようにしようと声を掛けてもらい、適度な関係が保てていると思う。
- ・母とは価値観等が合い問題なく進んだのですが、父とは話し合う機会が少なかった為か後々苦労した点がありました。三世代同居を始める前に家族で良く話し合っておく事をおすすめします。
- ・義理両親と同居することになる夫もしくは妻の配偶者が、夫もしくは妻に寄り添うことが大事だと思います。
- ・夫側の実家の近くで三世代同居をするなら、夫は妻の味方、最大の理解者(代弁者)に常になるべき。
- ・お互いの良い距離感を保てれば同居でのメリットは大きいと思います。
- ・メリット、デメリット両方あると思いますが、メリットの方が多いと思います。
- ・分担によって家事が楽になる。
- ・子育てにおいても日常生活においても助けてくれるので総合的に良かったと思っている。
- ・子どもが祖父母によく慣れているので、用事がある時等、預けやすいです。
- ・子どもも大好きな祖父母が近くにいる姿や生き生きとした顔で孫の面倒を見てくれる親を見ると三世代同居して良かったと思います。
- ・孫の成長もみれ、お互いに具合が悪い時にも協力できます。
- ・子ども達が以前より祖父母と遊んでもらえる時間が増えて嬉しそうにしています。
- ・孫世代にとってはいい刺激があり、家族のあたたかさを常に感じられて幸せです。
- ・今はとても楽しく毎日を過ごしています。特に子育ての点では親世代にはとても助けてもらっています。
- ・親世代の夫婦だけの世帯では気づかなかったことが改めてわかることが多くなる。
- ・子育てに多くの大人が関わるので良いと思う。
- ・小学校に上がってから、子どもが早く帰るなどした時も祖父母が家に居てくれると安心できる。
- ・孫の世話を手伝ってくれるため、子世代が共働きしやすく安心できる。
- ・共働きのため、子育てや家事をサポートしてくれる人が近くにいることが、本当にありがたいです。
- ・子世代が共働きのため、急な体調不良で子どもを保育園に迎えに行かないといけないう時や、祝日で家庭保育だけど仕事が休めない日など親世代にみてもらう事ができるので、とても助かっています。

- ・共働き夫婦が多い時代なので、親世代が働いてない場合は子どもをお願いする事がとても多く、助かることがかなりある。
- ・将来的な話ですが、両親の介護が必要になった場合も、近くにいってくれた方が介護のしやすさや、すぐ状況がわかるので子世代としても安心です。
- ・同居する際は、ある程度広い家に住む。逃げ場を作る。
- ・母屋と離れの敷地内同居がよい。
- ・同一建物に三世代が同居するより、同一敷地内の別棟にして、親夫婦、息子家族がそれぞれプライバシーを保つことにしたのが、良かったと思います。
- ・敷地内同居のため、毎日のように親世代と顔を合わせたり、母屋と離れの距離が近いので子世代の宅急便が親世代の家に届いたりプライバシーの確保に少し工夫が必要でした。

問7 あなたにとって理想の家族形態はどれですか(複数回答可)

1. 三世代完全同居
2. 二世帯住宅での同居
3. 敷地内での同居
4. 三世代の近居(それぞれの世代の住宅が50m以内にある)
5. 世帯が離れ暮らす(それぞれの世代の住宅が50m以上離れている)
6. その他

100%
10%
17%
38%
23%
10%
2%



問8 問7で理想の家族形態を選んだ理由についてご記入ください

完全同居

- ・家族がにぎやかで、いつでも顔を見ることができる。
- ・子どもをみんなで育てられる。
- ・祖父母と一緒にだと安心する。
- ・家の事、孫世代の事を分担できる。
- ・自分も完全同居だったため、子どものとき、完全同居で良かったと思った。自分が高齢になった時も、自分の子ども、孫とそうのように過ごしたい。

二世帯住宅

- ・家族のふれあいがあって良い。
- ・プライバシーが保てる。自分の時間の確保が保証されれば問題なし。
- ・それぞれの世帯の独立性も保たれるため。
- ・気疲れする事なくちょうど良い距離感だと思います。また、お互い助け合いながら生活できるのも良いです。

完全同居・二世帯住宅

- ・近くにいることで、特に精神的に安定が図られる(特に親世代の)
- ・市内で離れて暮らしていたが実家に行く時、ちょっとしたことで面倒な感じがした。

敷地内同居

- ・丁度いい距離感が保てるので良いと思う。少し距離があることで、プライバシーも保たれ安心して過ごせる。
- ・家族とはいえ、プライバシーが無いとお互いに気持ちの面で大変だと思うので、近くにはいるが、母屋と離れで別れた方がいいと思ったので、敷地内での同居が良いと思った。
- ・お互いの生活リズムやプライバシーも守られ、都合が合えばすぐに交流できるので、現在敷地内同居をしているが、とても快適な為。
- ・敷地内同居の隣の家同士で過ごし方やご飯、お風呂、トイレも完全に別なので快適にストレスなく生活できる。

- ・ちょっとしたことも親世代に気づいてもらえ、孫世代の成長にも良いし、それぞれの生活のスタイルも尊重できやすい。
- ・隣に祖父母が住んでいるので、何かあった時にすぐに行き来できる。体調を崩した際に、すぐ助けられて安心できる。
- ・短い時間でも子どもをみてもらえることで、自分が家事をしたり、少しほっとすることができる。
- ・子どもを連れて買い物に行くのが大変な時、ついでに必要な物を買ってきてくれたりと助けてもらえることが本当に多い。
- ・子世代の自分たちの生活を自分たちでしつつ、祖父母のあたたかさを孫が感じながら生活できる。いろいろな人に大切にされる経験は大切だと思う。
- ・既存家屋の問題があり敷地内同居を選択したが、それぞれの家族が置かれた状況の中で最善の同居スタイルを選べば良いと思う。
- ・依存度が高く、子どもがいつまでも子ども気分が抜けないように思う。

二世帯住宅・敷地内同居

- ・完全同居より二世帯や敷地内同居の方が気がねなく出来て自由の時間が持てる。
- ・完全同居はお互いに気をつかすぎたり疲れると思う。
- ・孫世代がいつでも祖父母に会うことができ嬉しそう。
- ・仕事をしている時、親世代に孫の子守をしてもらえて安心。

近居(それぞれの世代の住宅が50m以内にある)

- ・生活リズムの違いや生活音なども気になるので、近いけど少し離れている方が気がつかわないと思う。
- ・近すぎず遠すぎずの関係がいいと思う。
- ・近すぎず多少距離のあった方が、お互い気をつかわず楽に生活できる。
- ・必要な時は助け合い、干渉すぎない距離感が大切です。

敷地内同居・近居

- ・子育て等で、ちょっとした手助けが必要な際に頼りにすることができるため。
- ・親の安否をすぐ確認できる。
- ・親が高齢になった時、近くに居住しているとお互いに安全ではないかと思う。
- ・親子でもプライバシーは大切にしたいので同じ家でないほうが良い。

離れて暮らす(それぞれの世代の住宅が50m以上離れている)

- ・時々、顔を見る程度がちょうどよい。
- ・少し離れた所の方が、お互いに気をつかわずいい。
- ・親世代の目を気にせず暮らすことができる。
- ・距離としては、同じ市内ならいいと思う。

その他

- ・理想は完全同居だが、全員が納得した上でないと無理。